

## 減災対策協議会幹事会資料

### 令和4年度の取組等

---

1. 大雨特別警報（浸水害）の指標改善
2. キキクル（危険度分布）の表示改善
3. 「線状降水帯」への事前の呼びかけ
4. 高潮の早期注意情報運用開始

# 1. 大雨特別警報（浸水害）の指標改善

今年6月30日  
運用開始予定



## 👉 発表基準を改善し大規模な浸水害の適中精度を向上

1. 発表基準を「雨量 + 土壌雨量指数」→「流域/表面雨量指数」に変更  
→想定される災害（「中小河川の氾濫」or「内水氾濫」）の区別が可能に  
（大河川の警戒レベル5相当は氾濫発生情報で呼びかけ）
2. 指数の格子間隔が5km→1kmに詳細化

### 現行基準

- ①又は②を満たすと予想され、更に雨が降り続くと予想される地域の中で洪水キキクル又は浸水キキクルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等
- ① 長時間指標：  
48時間降水量及び土壌雨量指数（先行降雨の影響を見定め）において50年に一度の値以上となった5km格子が50個以上纏まって出現。
  - ② 短時間指標：  
3時間降水量及び土壌雨量指数（先行降雨の影響を見定め）において、50年に一度の値以上となった5km格子が10個以上纏まって出現。

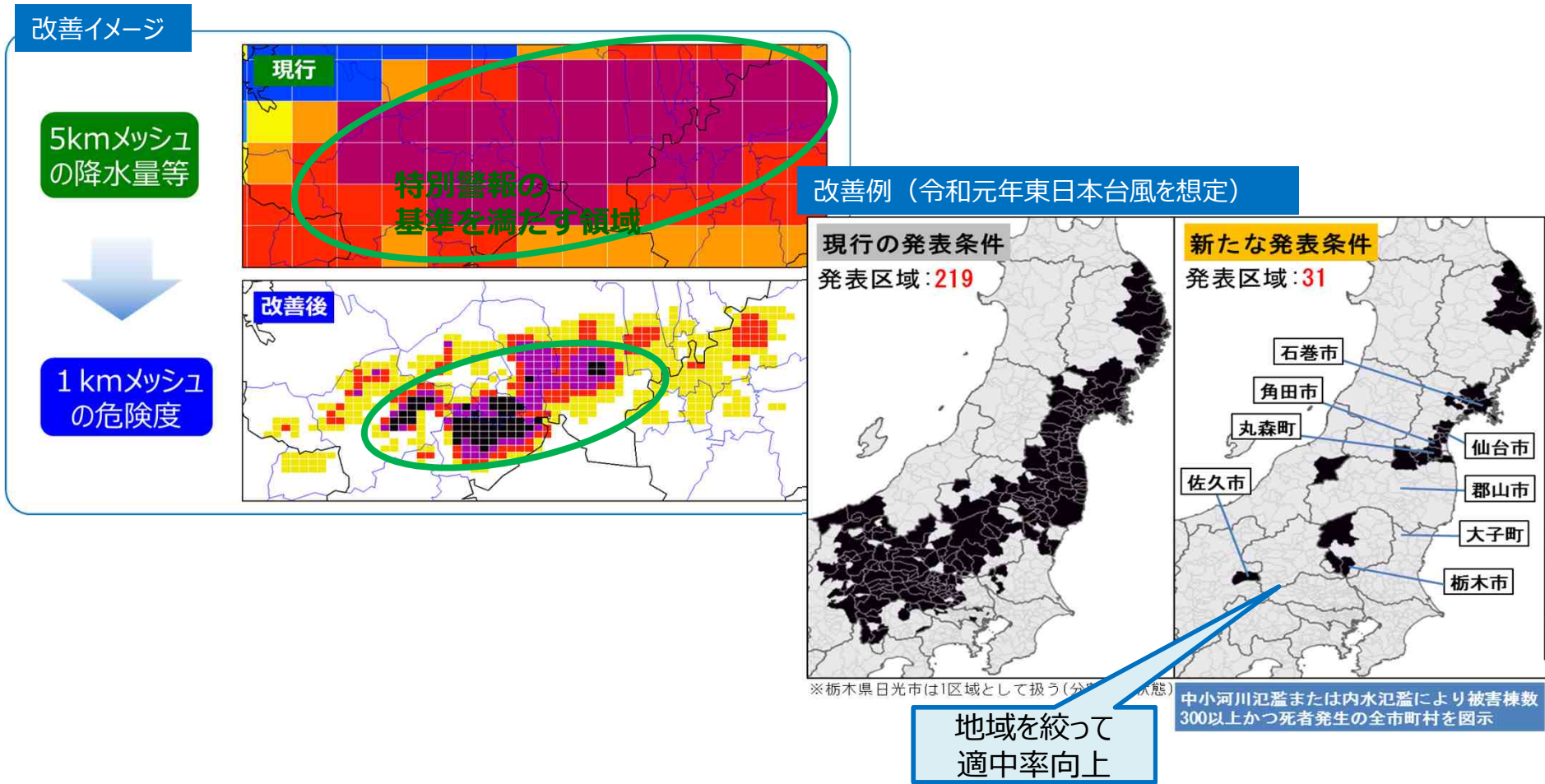
改善

### 新基準

- ①又は②を満たすと予想される状況において、当該格子が存在し、かつ、激しい雨がさらに降り続くと予想される市町村等
- ① 流域雨量指数の指標：  
流域雨量指数として定める基準値（中小河川の氾濫の可能性を見定め）以上となる1km格子が20個以上纏って出現。
  - ② 表面雨量指数の指標  
表面雨量指数として定める基準値（内水氾濫の可能性を見定め）以上となる1km格子が30個以上纏って出現。

# 1. 大雨特別警報（浸水害）の指標改善

今年6月30日  
運用開始予定



**新指標では現行指標と同等の捕捉率のまま適中率を大幅に改善**  
※対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれ、島しょ部など狭い地域への発表も可能。

## 2. キキクル（危険度分布）の表示改善

今年6月30日  
運用開始予定



👉 **キキクルと警戒レベルの色を整合し、より分かりやすく**

- ・警戒レベル5相当の表示（黒色）を新設
- ・「うす紫」と「濃い紫」を統合

これからのキキクル

色	警戒レベル
黒	5相当
紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	—

特別警報基準値  
超過を「黒」で表示

警戒レベル4  
の「紫」と一致

これまでのキキクル

色	警戒レベル
濃い紫	—
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	—

改善イメージ  
(洪水)

警戒レベル（相当）の分布が  
一目でわかる！！



**「紫」が出現した段階で  
速やかに安全な場所に  
避難する判断を！**



九州北部豪雨における赤谷川の被害状況  
(平成29年7月7日国土地理院撮影)

# 3. 「線状降水帯」への事前の呼びかけ

今年6月1日  
運用開始予定



## ☞ 線状降水帯の発生可能性を前もって地方気象情報でお知らせ

- ・これまでは線状降水帯が発生した場合に気象情報を発表していた
- ・改善後は予想の段階（半日程度前）から気象情報を発表し、早めの警戒を呼び掛ける

大雨が予想される際に発表される気象情報で、線状降水帯発生の可能性に言及する内容を記載

予想雨量と併せて、線状降水帯が発生した場合には、さらに状況が悪くなる可能性があることを記載

**発表例**

大雨に関する東北地方気象情報  
令和4年〇月〇日〇〇時〇〇分 仙台管 気象台発表

(見出し)  
東北地方では、線状降水帯が発生する可能性があり、大雨災害発生危険度が急激に高まるおそれがあります。

(本文)  
… 中略 …

【予想と防災事項】  
〇日〇時から〇日〇時まで予想される4時間降水量は、いずれも多い所で、  
青森県 〇〇ミリ  
秋田県 〇〇ミリ  
山形県 〇〇ミリ

線状降水帯が発生した場合は、局所的にさらに雨量が増えるおそれがあります。  
… 中略 …  
【補足事項】

**将来の予定**

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に対象地域を狭めていく

令和3(2021)年 線状降水帯の発生をお知らせする情報 (6/17提供開始)	令和4(2022)年～ 広域で半日前から予測	令和6(2024)年～ (1年前倒し) 県単位で半日前から予測	令和11(2029)年～ (1年前倒し) 市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供
 線状降水帯の雨域を楕円で表示	<b>イメージ</b> 九州北部では、△日未明から明け方にかけて線状降水帯が発生し、大雨となるおそれがあります。	<b>イメージ</b> 熊本県では、△日未明から明け方にかけて線状降水帯が発生し、大雨となるおそれがあります。	<b>イメージ</b> 
	令和5(2023)年～ (新たな取組み) 直前に予測 (30分前を目標)	令和8(2026)年～ (新たな取組み) さらに前から予測 (2～3時間前を目標)	

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に予測時間を延ばしていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

これまで発生後の情報提供にとどまっていたが、令和4年度より、予測精度向上を踏まえた線状降水帯発生予測を開始し、その後、段階的に精度を向上(令和4年度気象庁関係予算決定概要)  
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2112/24a/04kettei.pdf>

# 4. 高潮の早期注意情報運用開始

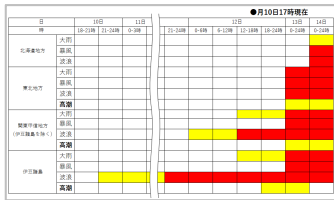
今年8月下旬  
運用開始予定



👉 **高潮の警報級の可能性を、毎日5日先まで把握可能に**  
→これまででは台風接近時に限定して気象情報等で呼びかけていたが、運用開始後は毎日発表

## 現状

**台風時...** 5日先までの高潮の警報級の可能性を、図形式の気象情報等により、バーチャートで発表。



気象情報例の一部

**台風時以外...** (高潮の警報級の可能性発表なし)

### 高潮に関する防災情報の体系

警戒レベル	住民がとるべき行動	気象庁等の情報
5	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	高潮氾濫発生情報
4	<b>危険な場所から全員避難</b> 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了する。 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	高潮特別警報 高潮警報
3	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高潮警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	<b>自らの避難行動を確認</b> ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	高潮注意報
1	災害への心構えを高める	(なし)

## 運用開始後

✓ 台風が存在するかどうかにかかわらず、毎日、高潮の早期注意情報(警報級の可能性)を発表。

東京都東京地方	12日			13日		14日	15日	16日	17日
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-
大雨	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下				
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下				

∴ 中略

波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-
	波高	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5			
高潮	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	-	-

気象庁ホームページでの高潮の早期注意情報の掲載イメージ

### 気象庁等の情報

高潮氾濫発生情報

高潮特別警報  
高潮警報

高潮警報に切り替える可能性が高い  
高潮注意報

高潮注意報

早期注意情報(警報級の可能性)

高潮特別警報・警報・注意報の扱いは変更なし

新設